学習通信

～後期のスタート、自分の学習状況を振り返ろう！～

学習指導係発行〈第６号〉
令和２年10月30日

後期が始まったばかりですが、早いもので、後期中間試験までおよそ１ヵ月となりました。
10月は特に学校行事で忙しく、あまり学習できなかったという人も多いのではないでしょうか。
秋は成績が大きく変動するとても大切な時期です。今回は、これから学習していく上で
気をつけてほしいポイントと、スタディサプリを使った学習計画についてまとめました。
これらを参考に、もう一度自分の学習習慣について振り返り、今後の学習に活かしていきましょう。

学習習慣を振り返ってみよう

	成績上昇者の特徴	成績下降者の特徴
国語	□試験後は間違いを確認し、理解している □古典の予習では辞書などを使って全文を現代語訳している □授業中は板書だけでなく、重要だと思ったこともノートにとる	□試験で間違えたところだけを確認している □予習をしていない □板書のみをノートにとる
数学	□自主学習は、平日･休日とも、1時間以上取り組んでいる □復習と宿題は必ず行っている □疑問点は、質問して解決している	□自主学習は、平日･休日ともに、ほとんどしていない □自主学習はしていない □疑問点があってもそのままにする
英語	□自主学習は、平日･休日とも、1時間以上取り組んでいる □自主学習は宿題と予習中心に取り組んでいる □予習では新出の単語や熟語を辞書で調べておく	□自主学習は、平日･休日ともほとんどしていない □試験前の学習のみ行っている □予習をしていない

スタディサポート・実力診断テスト・外部模試それぞれの違いを知ろう！

さて、10 月 16 日に、第 2 回 スタディサポートを実施しました。今後、皆さんは河合模試や駿台模試など随時実施の外部模試、1 月 12 日には、全員を対象に実力診断テストが実施されます。どのテストも皆さんの学習定着度や学力を測るものですが、それぞれの特徴を知ることでそれぞれのテストのとらえ方、その後の対策も異なってきます。

スタディサポート

第２回 令和２年 10 月１６日実施（本年度は終了）

【 内　　容 】: 基礎力や授業の定着度の確認

【問題レベル】: 比較的容易

【 ポイント 】: 自分の苦手分野を知ることが一番の目的
『できていない』＝『基礎が身についていない』
という状態のため、普段使っている教科書等で
早急に復習を進めるとよい

実力診断テスト

令和３年１月１２日実施

【 内　　容 】: 基礎力の確認と実力の確認と記述問題

【問題レベル】: 模試に近いテストで、
スタディサポートと比較するとやや難

【 ポイント 】: ２回のスタディサポートを経て、実践編に近い
記述問題対策が必要

外部模試

実施時期は、随時【河合模試や駿台模試など】

【 内　　容 】: 実力・応用問題中心

【問題レベル】: 難・大学入試に近い形態

【 ポイント 】: 大学入試問題頻出の問題が多いため、復習重視
解答冊子を読みこなすことで実力 UP につながる
全国偏差値や志望校の合格判定が出る

各テストの違いを理解し、定期試験だけでなく、
模試も基点としてスケジュールを立てられるようになろう！

さて、第2回スタディーサポートの結果（出るのは約1か月後です）を確認したら・・・

①できなかった問題を解き直すこと
②活用 Book の取り組み方を振り返ること
③次の実力診断テストに向けて、どのように取り組めばよいか考えること

以上3つのポイントを踏まえて、しっかりと実践していきましょう。

スタディサプリの活用について

本年度は休校中に、スタディサプリが全員に導入されました。利用状況などを確認することで、今後の学習に向け、さらに活用してもらいたいです。以下に効率的な使用例を記述しておきますので、参考にしてください。

POINT1：定期テスト対策

１授業１単元になっているので、該当授業を見ることで定期テスト対策にもなります。また、学校の授業の前に受けて「予習」に使用することも、学校の授業を受けた後に「復習」に使うことも出来ます。普段からの積み重ねは必ず成果となって返ってきます。そして、予備校と違う点は、学校の進度に合わせて何度も受講することが出来る点です。

さらに、評定を必要とする受験の仕方、例えば指定校推薦や学校推薦型選抜などといった、受験の視野を広げることにも繋がっていきます。

POINT2：苦手分野克服

英語、国語、数学だけでなく、様々な教科を学年関係なく受講することが出来ます。例えば、化学基礎や生物基礎でつまずいたとしても１から復習することが出来ますし、数学が苦手であれば中学校の数学から復習することも出来ます。

POINT3：病気や怪我での休みによる遅れを取り戻す

授業がどこまで進んだのかを確認して、自宅でも休んだ範囲の講座を受講することで、抜けがない状態で次の授業に臨むことが出来ます。

POINT4：入試対策など、やる気がある生徒はどんどん成績を伸ばすことが出来る

「やる気がない」生徒には向いていないコンテンツです。しかし、「目標が定まっている」生徒には効果が十二分に発揮されます。この「目標」が一番大事であり、次に「自分の現状と目標の乖離を見極めること」が大事になります。前期成績表や模擬試験の結果を見て、どこからスタートすれば良いのか見極めましょう。

メリットは様々ありますが、それは始めなければ意味がありません。これはスタディサプリに限ったことではありませんが、手持ちの教材は使いこなせているでしょうか？後期の始まり、気持ちを新たに実りのある秋にしましょう。

悩んでないでやってみよう！

成功の法則

できるまでやる

スタディサプリ到達度テストのお知らせ

10 月 30 日（金）にスタディサプリ到達度テストを配布します(自宅受験)。そこで、到達度テストは何のために受験するのか、お話ししましょう。

このテストは、定期テストやスタディーサポートのテストとは異なり、「高得点を取って学習の成果を測るため」ではなく、**「できない部分や苦手な単元等に気づくため」**のテストです。周囲の友人と比べ、テストの結果に一喜一憂し、「〇点取れたから頑張った」とか「〇点だから平均点より高い」ということは一切関係ありません。結果が返ってきたら、**どこが出来ていなかったのか**を確認しましょう。テストを受け分析結果を確認することで、今の自分の苦手はどこなのか、何を勉強したら成績が伸びるのかをアドヴァイスしてもらえます。皆さんに渡される個票には、「この単元のこの動画を視聴しましょう」と記されていますので、沢山ある講座動画の中から指定された動画を視聴して学習することができるのです。

成績を伸ばし、希望の進路を叶えるためには、自分の苦手分野を知り、それを早めに克服することが重要です。12 月上旬には個票が返却されますので、指定された動画の視聴を冬休みの家庭学習の一つに加えましょう。そして、1 月 12 日(火)に実施される実力診断テスト（ベネッセ）で、ワンランク上のＧＴＺを目指しましょう。

＜配布物＞

英語・国語・数学・学習習慣アンケート・解答用紙セット・各教科解答/解説（後日）

※1 年生は 3 教科とアンケートを提出。

※2 年生はアンケートと、文系は英国、理系は英数を提出。全教科提出も可。

＜受験形態＞自宅受験……マークシートに回答する。

＜実施時間＞各教科 50 分、学習習慣アンケート 10 分

＜提出物＞

各教科の解答用紙(マークシート)

受験者情報/学習習慣アンケート(マークシート)　＊両面あり

＜注意事項＞

※マークシートは HB か B の鉛筆使用(ボールペン不可)

※マークシートには解答用紙番号があるので、他人のシートを使うことはできません。

※マークシートの名前・学年・クラス・番号を間違わずに書くこと。

1 年 A 組➡8 組　2 年 A 組➡10 組　1 年国公立・2 年国公立文系➡20 組　2 年国公立理系➡21 組

※集計グループは記入しなくてよい。

※問題用紙にもマークをし、テスト終了後、解答/解説を見て、

問題用紙に自己採点をすること。マークシートは提出するので採点しない。

＜提出先＞各担任　＜提出締切＞***11 月 5 日(木)厳守！***